

横浜隼人杯争奪ルーキートーナメント

＝ 第21回大会規約 ＝

2022.9.17

2022.10.9 「16. 決勝トーナメントにおける雨天時の取扱」を追記

1. 大会参加チームは、小学校1年生以上3年生以下で構成される。
2. 試合球はJ球を使用する。
3. 本部大会のベンチは、抽選番号の若い番号を一塁側とする。
4. 各チームは試合に先立ちメンバー表及び、試合球2球を担当審判に提出する。
5. コールドゲームは3回13点差とし、決勝戦のみコールドゲームはなしとする。
試合は5回戦とし試合時間は、**70分**とする。
時間制限内に同点の場合は特別延長を行う。特別延長はワンアウト1・3塁とし、打順1, 2番が走者で3番から攻撃するものとする。
時間制限を超えた場合は、終了時に出場していた選手9人全員による抽選とする。
決勝戦の延長戦の時間制限は90分とする。それで決着がつかない場合は、終了時に出場していた選手9人全員による抽選とする。
*ブロック予選の勝敗が同率の場合は、監督が抽選カードを引くこととする。
*ブロック予選が終了しなかった場合、くじ引きにて上位2チームを確定する。
6. 攻撃は1回9人で終了とする。但し決勝戦は適用しない。
7. 投手本塁間距離は14m、塁間距離は21mとする。
8. 投手のボークは適用せず、注意のみとする。但し、ボークにより生じた攻撃側の不利益は取り除く。
9. 大会における投手一人の投球イニング数は1日**5イニング**を限度とする。
1球でも投げたら1イニングとする。特別延長は投球イニングに加算しない。
第2試合がある監督は試合前に第1試合に投げた投手のイニング数を審判に申告しなければならない。
10. ブロック予選の審判は、当該チームの出し合いにて行う。
11. 監督コーチのベースコーチは1名のみ認める。
12. 各会場の第一試合のみシートノックあり。
13. インフィールドフライは採用しない。
14. 上記以外のゲーム規則に関しては、公認野球規則に準拠する。
15. コロナ関連により試合が行なえなかったチームは、不戦敗とする。
16. 決勝トーナメントにおける雨天時の取扱
 - ① 3回裏が終了した場合、試合は成立する。3回裏の攻撃側のチームが勝っている場合は、攻撃中でも試合は成立する。

- ② 雨天中止となった場合、翌日以降に継続試合とする。
- ③ 継続試合の場合、投球イニング数は引き継がれない。

以上